

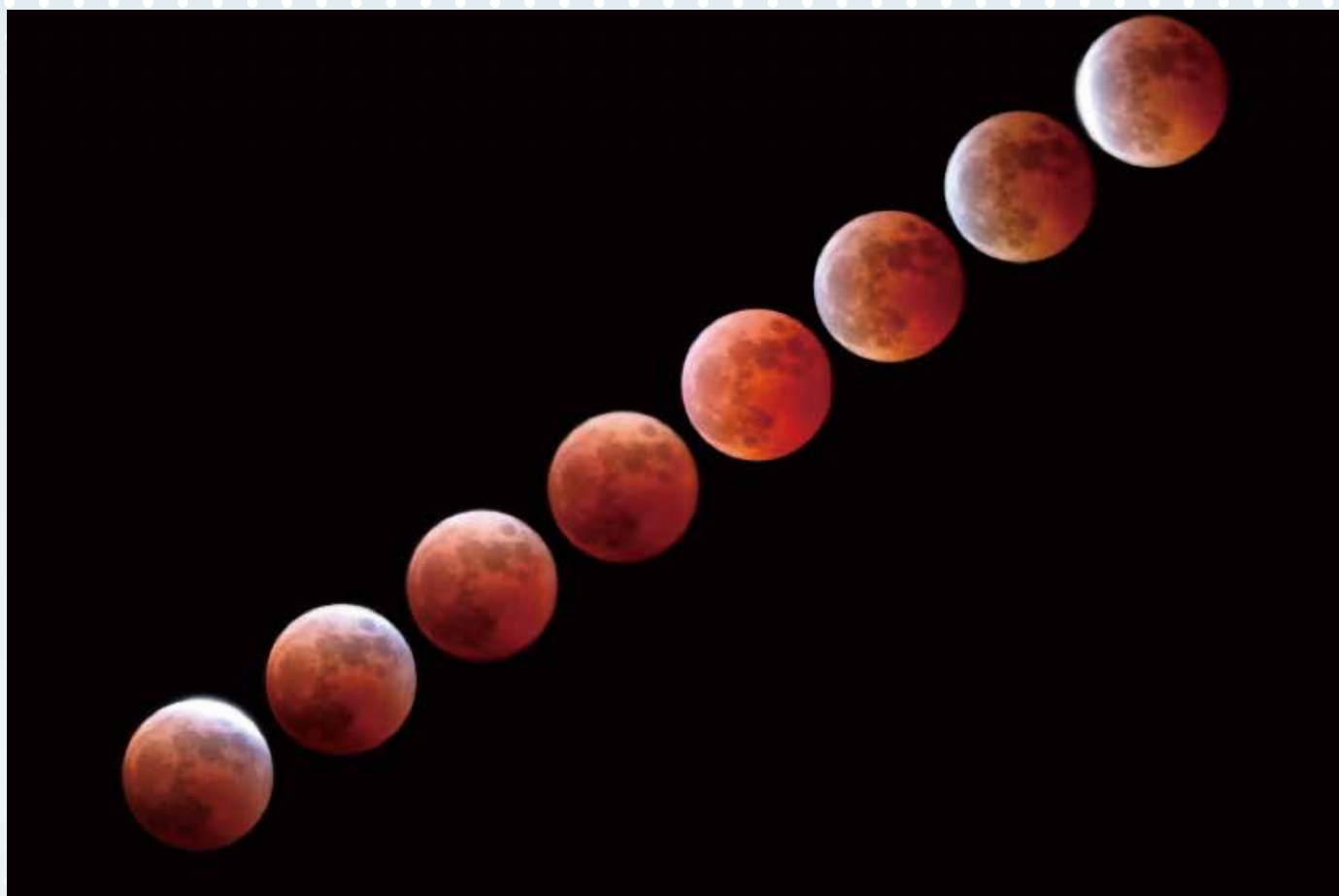
山病だより

Japan Community Health care Organization Yamanashi Hospital

1月号

vol. 157

令和5年1月発行



皆既月食の赤い月

撮影 耳鼻咽喉科 医師 吉野 泰弘

昨年11月8日皆既月食の神秘的な赤い月が夕空に昇りました。約2時間半の長時間にわたって皆既し、天候にも恵まれたため見られた方も多かったことと思います。次の皆既月食は3年後になります。

CONTENTS

年頭所感	2
新人職員紹介	3
第7回JCHO地域医療総合医学会	3
連携室だより	3
職員の専門性を聴く！	4
趣味の部屋	5

糖尿病診療管理委員会	6,7
認定看護師コラム	8
薬局だより	9
外来診療担当表	10



年頭所感

JCHO山梨病院院長

佐藤 公

新年が皆様にとって明るく良い年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染が拡大・持続する中で、これまで当院は山梨県や甲府市とも連携した新型コロナウイルス感染対応を通じて多くの経験を重ねてまいりました。新型コロナウイルス感染拡大の初期には患者を受け入れ、昨年からは山梨県の重点医療機関として地域医療の一端を担うとともに、休日を含めて延べ約2万人にワクチン接種を行いました。こうした経験をもとに当院スタッフは山梨県や首都圏だけでなく、遠くは沖縄まで感染対策、医療支援に参加しています。感染制御チーム (ICT) はじめ関わる多くの職員に感謝し、その労を労いたいと思います。

新型コロナウイルス感染への懸念から健診手控えの風潮もあり、癌の診断の遅れが社会問題となりましたが、当院の昨年の健診受診者はほぼコロナ感染症が広がる以前に戻りつつあります。胃癌検診を例にすると、上部内視鏡検査は約15,000件実施し、発見された早期胃癌患者さんには診断結

果を平均7日で連絡しています。外来を受診していただき、術前検査を行った後に入院し、健診受診から平均42日で胃がんの内視鏡治療を終えて退院されました。多くの患者さんは、「自分が癌だとは思いませんでした」と驚かれるとともに、短期間のうちに治癒されたことに安堵されます。また、便潜血や婦人科検診を契機に診断される大腸癌や子宮癌、乳腺エコーやマンモグラフィーで診断される乳癌の診療も多く、これらは健診センターと病院部門、放射線専門医や病理専門医など常勤スタッフとの連携の結果であり、当院の大きな特色のひとつと考えています。診療された患者さんとそのご家族を思うとき、それは私たちの仕事の役割と責任を改めて実感するときでもあります。

当院は、地域の皆様が必要とする医療を安全かつ親身に提供してゆくことが使命と考えています。親身な医療を思い描く時、まずは「親であつたら」、「子供であつたら」と考えると分かりやすいかもしれません。人やチームワークは人の中で育て、育まれてゆくものです。チームとしての総合力を職員一同で更に高めてゆきたいと考えています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新入職員紹介

- ① 趣味
- ② 特技・こだわり
- ③ 性格は
- ④ 当院に就職するにあたって
(自己PRを含めて)

新井 謙太郎 医師（整形外科）

- ①マンガとゲーム
- ②ゴルフとドラマ
- ③マイペース
- ④前の職場では、膝関節（と肩関節）の勉強をしており
ました。専門を活かして、皆様のお役に立てるように
努めてまいります。

深沢 ふくみ（看護師）

- ①手芸（刺繍や裁縫等）、映画鑑賞 ②ピアノ（13年間習っていました）
- ③性格は几帳面で、何事も丁寧に取り組みます。
- ④4年間の看護師経験を活かし、アセスメント力やコミュニケーション力をより磨き、患者さんが安心して治療を受けられる
よう、また質の高い看護を提供できるよう努力していきたいです。

大沢 和弘（臨床検査技師）

- ①キャンプ、カメラ ②スノーボード ③楽観的 ④環境になれ、楽しく生活できたらと思っています。

「第7回JCHO地域医療総合医学会」

10月21日～22日にかけて3年ぶりとなるJCHO学会in熊本が行われました。全国のJCHO病院から症例報告や地域医療を推進する先進的な取り組みが報告される中、当院からは5名が発表及び特別発言を行いました。また今回、特別ゲストとして石川さゆりさん（熊本ご出身）による記念コンサートが感染対策の上、盛会に行われました。コンサート後のトークショーでは、石川さゆりさんのほか、熊本のエースくまモンも出演し、当法人の山本理事長を中心に、我が国のコロナ対策について楽しくも真面目に意見交換を行いました。来年のJCHO学会は三重県です。また現場の模様をお伝えします。お楽しみに！

【JCHO山梨病院からの発表内容】

- 「消化器内視鏡とAI」（特別発言）病院長 佐藤 公
- 「水晶体を守るために伝えるべきこと」放射線部 阿野匡昭
- 「便潜血陽性者の受診行動へのアプローチの検討～
受診者の理由の明確化と今後の課題～」看護部 石原佳代 佐々木千乃



- 「当院の乳癌術後における
Axillary Web Syndromeの発症状況について」
理学療法室 代永紗妃
- 「医療ソーシャルワーカーの退院支援に対する患者
及び家族による主観的評価尺度の検討」
地域医療連携室 中村成一郎

連携室だより vol.21

地域医療連携室では、紹介患者様の予約専用電話を新設しました！
紹介状がある場合は、こちらの専用電話をご利用ください。

紹介患者予約専用電話055-251-5786

また、地域医療連携室では、定期的に地域住民への出前講座を企画しています。

医師、看護師、理学療法士、社会福祉士などが地域の公民館に訪問し、健康維持や福祉に関する30分程度の講話を
させていただいております。対象地域は特に設定しておりませんが、病院の情勢により、内容や出向日時は要相談とな
ります。ぜひ一度ご相談ください。

職員の専門性を聴く!

婦人科医師 端 圭子



当院婦人科に勤務して4年目になります。婦人科では、朝最初は検診から始まり、その後外来診療を開始し、また午後も検診後外来診療を行っています。検診は最大枠朝30名、午後20名の方が受診なさるので山梨県内の他施設・病院に比べ多い方だと思います。検診で異常が見つかり、そのまま当院の婦人科外来に受診し精査、治療をなさる方も多く当院の特長になっているのではと思っています。当院では子宮頸部細胞診に液状化細胞診(LBC法)を山梨県内ではいち早く導入していて、従来の細胞診より精度が高く、また子宮頸がんの原因であるHPV(ヒトパピローマウイルス)の検査を同検体で同時に、または検体の保存ができるので後日に追加することができます。国内では、毎年約1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約3000人の方が死亡しています。また2000年以降、患者数も死亡率も増加していますが、検診受診率は約40%と欧米諸国に比べ低いのが現状です。検診では子宮頸がんや子宮頸がんの前がん病変(子宮頸部異形成)の他、エコーで子宮体部や卵巣に異常が見つかることも多いので検診はとても大事です。少しでも婦人科受診しやすいように丁寧な診察を心がけて、エコー所見等のご説明のお話をしながら緊張感を和らげていくよう努めています。

婦人科外来は、細胞診異常のフォローアップ、卵巣腫瘍や子宮筋腫、子宮内膜症の経過観察や治療など一般外来ですが、当科の最近の傾向としては10代~20代の方の受診が増えています。月経困難症や月経前症候群(PMS)、月経不順のご相談が多く、鎮痛剤や症状に応じた対症療法をしますが、LEP(低用量ピル)が治療用ピ

ルとして、月経困難症、PMSの症状をどちらにも効果があることが多く保険も適用されます。中でも超低用量ピルは嘔気等の副作用が少なく月経周期に伴う苦痛が徐々に軽快するのでおすすめしています。他にもご年齢によっては、月経を1年に3~4回にして症状を軽快させるピルも発売され月経関連の症状の緩和の治療の選択肢は増えています。また、漢方薬での治療も積極的に行っていて、漢方薬単独のこともあります。ピルや他の治療と併用して症状がより軽快するよう考慮しています。治療の方針に関しては、ご年齢やご結婚ご出産の予定など社会的な状況も考えて適切な治療を選択していくことに、とても留意しています。

今年4月から、HPVワクチンの接種が再び推奨となり開始しました。今のところまだワクチンの接種があたりまえという意識があるためか外国の方の接種が多いのですが、徐々に増加しています。HPVは多くの型があり、その中でも16型18型を含む4価ワクチン(ガーダシル)が公費負担で現在主流ですが、数年前9価ワクチン(シルガード9)が発売となっています。ワクチン+検診で頸がんがかなり減少している国も多く、日本は遅れているので、副反応に充分注意して接種を推進していこうと思っています。

婦人科は地下一階の奥で静かなイメージがある方も多いと思いますが、スタッフみんなでいろいろ頑張っています。患者さんから、来て良かった、ずっと悩んでいたから早く来れば良かったと仰っていただいた時は嬉しいです。新しい治療や概念に敏感でいて、患者さんに情報を提供し、より良い治療の選択ができるようにと考えています。

音楽を作り上げる楽しさ

6 階病棟看護師 飯沼萌香

こんにちは!今年の4月に入職しました、6階病棟看護師の飯沼萌香です。初めての就職、初めての仕事に緊張しておりますが、優しく暖かな先輩方に支えていただきながら、そして同期と励まし合いながら日々働いています。今回は私の趣味についてお話していきたいと思います。

私の趣味はトランペットを吹くことです。楽器を始めたきっかけは大好きな友達がトランペットを吹いていたことでした。

私が通っていた小学校には吹奏楽部がありました。私の友達は3年生から吹奏楽部に所属しており、4年生の時、友達の誘いで休み時間に楽器を吹いてみたところ「ブォッ」という変な音が出てびっくりしたのを覚えています。その時、初めてトランペットを吹いたのですがうまく吹けませんでした。それから、休み時間に音楽室に行き楽器を吹くことが日課になりました。友達から、「一緒に吹奏楽部やらない?」と言われ、吹奏楽部に入部しました。吹奏楽部の顧問の先生はとても優しく、熱心な先生で歓迎してくれました。しかし、吹奏楽部の練習は思っていたよりハードでした。朝や土日の練習、夏休みにはコンクールに向けてほとんど練習をしていました。学校生活が一気に変化したため身体がついていかず、嫌になって辞めようと思ったことも何度かありました。それでも、部の仲間と支え合い楽しみながら練習していました。コンクールや演奏会で県外に行くこともあり、大阪や東京、京都にも演奏しに行っていました。

中学校でも、流れで吹奏楽部に入部しました。特にしたいことがなかったので何も考えずに入部しましたが、中学校の部活は小学校とは比べ物にならないくらい大変でした。毎日朝と放課後、土日、夏休みも部活があり、お休みがほぼありませんでした。小学校ではスウィングジャズという音楽を演奏していましたが、中学校では主にクラシックを演奏していたためその違いにも戸惑いがありました。当時はとても辛く思っていたますが、今思えばとても恵まれていたと感じます。顧問の先生は時間外勤務が多く休み返上で指導してくださっていました。私たちの両親、保護者

会の方々は土日に練習に来てくださり、コンクールや演奏会にもお手伝いをしてくださいました。当時はその恵まれた環境に気づけず、感謝の気持ちが足りていなかったと、今では思います。

音楽が好きなことは変わらず、高校でも吹奏楽部に入部しました。高校生の部活は自分たちで音楽を作る感覚があり、また違う楽しさがありました。自分たちで考えて、みんなので一つの音楽を作り上げていく、その過程がとても楽しかったです。

高校を卒業しても、その楽しさが忘れられず、現在は地域の社会人の吹奏楽団、甲斐市敷島吹奏楽団に所属しています。甲斐市敷島吹奏楽団は甲斐市敷島を拠点とした一般の吹奏楽団です。敷島中学校吹奏楽部OBを母体に昭和54年4月に発足し、今年創団43年目となりました。創団当初から、「地域に根ざした音楽活動」「だれからも愛される演奏」をモットーに日々活動を続けています。現在、団員は約60名で、年齢も職業も様々です。来年の2月19日には東京エレクトロン荳崎文化ホールにて、第34回定期演奏会が開催されます!みなさんぜひお越しください♪



世界糖尿病DAY

in 山梨病院 テーマ「血糖値について考え直してみよう」

世界糖尿病DAYとは？

11月14日の世界糖尿病デーは、世界に広がる糖尿病の脅威に対応するために1991年にIDF（国際糖尿病連合）とWHO（世界保健機関）が制定し、2006年12月20日に国連総会において「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議（UN Resolution 61/225）」が加盟192カ国の全会一致で採択されると同時に、国連により公式に認定されました。11月14日は、インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日であり、糖尿病治療に画期的な発見に敬意を表し、この日を糖尿病デーとして顕彰しています。

世界糖尿病デーは、現在、世界160カ国から10億人以上が参加する世界でも有数な疾患啓発の日となっており、この日を中心に全世界で繰り広げられる糖尿病啓発キャンペーンは、糖尿病の予防や治療継続の重要性について市民に周知する重要な機会となっています。出典：世界糖尿病デー実行委員会

世界糖尿病DAY in山梨病院

当院の世界糖尿病デー企画は13年以上継続しています。2022年度は「血糖値について考え直してみよう!」をテーマに掲示物を作成しました。下記写真右から看護部「食後血糖について」、理学療法室「運動習慣が糖尿病に与える効果」、栄養課「食事の糖質を知って高血糖を減らそう!」、検査部「糖尿病の検査と値」、薬剤部「血糖値とインスリン」について、まとめました。各部署毎、患者様に関わる中で、血糖値を改善するために伝えていきたいことをまとめました。見ていただいた方に、感想を聞かせていただき、来年度につなげていただきたいと思います。

新たな気持ちで生活を見直しましょう!

世界糖尿病デーが終わると、季節は年末・年始に移り変わります。忘年会やクリスマス、新年会と食べたり飲んだりする機会が多くなり、食事療法や運動療法、服薬、インスリン注射、血糖測定などをすっかり忘れがちです。年末年始は、1年のうちで、多くの患者様の血糖コントロールが乱れやすい期間になります。生活を見直しましょう!

自身の体の状態を観察しましょう!

血糖測定・体重測定・血圧測定を行い、自分の体の変化に気づきましょう!体の状態が思わしくない場合は、内服ができていないか、インスリン注射は打っているか、食べ過ぎていないか、食事のバランスが乱れてないか、3食食べられているか、間食していないか、甘い飲み物を飲みすぎしていないか、運動はできているかなど、生活を振り返り、見直しましょう。



アルコールは要注意!

1日1杯と決めて大切に飲みましょう。お酒を飲むとおつまみが進みますが、タンパク質(お肉・お魚など)は指先を除いた片手分、野菜は両手分、主食(ご飯や麺)を少量食べることで、飲み過ぎを防ぐことができます。

感染症にご注意!

寒さに加え、生活が不規則になり、人が集まる場所に行く機会が多い年始は、風邪を引きやすくなります。感染予防に、マスクの着用、うがいと手洗い、十分な睡眠と休養、バランスの良い食事が大切です。

「か・た・い」決心で1年を過ごしましょう!

か:からだを動かしましょう!

た:たべすぎないように、よく噛み、野菜を食べよう!

い:いつもと同じ規則正しい生活を送りましょう!

糖尿病ネットワークより一部抜粋

健康で楽しい1年を過ごせるよう、応援しています。



糖尿病診療管理委員会 糖尿病看護認知看護師 ロジャーズ

糖尿病診療管理委員会

私達は、JCHO 山梨病院に通っていただいている糖尿病患者様の診療の向上に努めております。

認知症と糖尿病

糖尿病診療委員会 脳神経内科 下川 周

最近では認知症と糖尿病が関連があると言われています。糖尿病には神経障害、網膜症、腎障害という三大合併症というものがありますが、今はそれに認知症が加わりそうで4大合併症という人もいます。アルツハイマー型認知症はアミロイドβという老廃物が蓄積して起きると言われているのですがこれはインスリンを分解する酵素で処理されます。

2型の糖尿病ではインスリンが効きにくくなり血糖を下げるには大量にインスリンが必要になります。そうするとインスリンの分解に酵素が消費されアミロイドβが分解されなくなり蓄積しやすくなります。HbA1cが7以上の患者では認知症を発症するリスクが高まると言われています。

認知症を合併した糖尿病は治療が難しいことをよく経験します。

アルツハイマー型認知症の患者は早期から薬剤の管理ができない事が多く、内服を忘れてたり過剰に飲み過ぎて低血糖を起こすようなケースもあります。低血糖も認知症を悪化させるので自分で薬の管理をさせない方が安全なようです。

糖尿病をよくすることでアルツハイマー型認知症の予防をすることができます。

特に運動療法は大事です。糖尿病に関係なく30分の運動を週に3回行うことでも認知症を予防できると言われているので膝や腰が悪くなくて歩けるような方は歩くように進めています。

また良質な睡眠を取るとアミロイドβが排出されると言われており、夜更かししない方が良いと言われています。7時間以上の睡眠を取りましょう。



認定看護師 コラム



こんにちは、今回は認知症看護認定看護師の藤原が担当です。

みなさんは、認知症を予防する方法があることをご存じでしょうか？

認知症になる一歩手前に 軽度認知障害 (MCI) という状態があります。MCIの症状は本人も周りの人も物忘れが増えてきていることに気づいていますが、日常生活や社会生活には支障が無い状態です。この時期に認知症予防の対策を行ない、積極的に脳を刺激することで、MCIの状態を脱することができる可能性があります。

認知症予防対策

1. 難聴対策



因子:

- ・認知症の最も多いリスク因子
- ・耳から入る情報量が少なくなり、脳の活動が低下し、脳が萎縮する可能性がある。

対策:

- ・「ちょっと最近聞こえが悪くなったなあ」と思ったら、耳鼻科を受診し、補聴器が必要な場合は早めの利用を。

2. 社会的孤立への対策



因子:

- ・難聴と同様に、社会的孤立も大きな認知症のリスク。
- ・一緒に出かけたり、話したりするような友達がいないと脳を使う機会が減る。

対策:

- ・外に出る機会を作るために「趣味」を持つ。ウォーキングやカラオケ、好きな音楽を聴く、興味のある楽器を演奏するなど良い。カメラを持って写真を撮りにいくのも良い。

3. 運動不足への対策



因子:

- ・高齢になり足の筋力が低下すると運動不足となり体力が落ちる。そのため歩くのが辛くなり、外出する機会が減る。そうすると家にいることが多くなり、刺激の少ない生活となるため脳の機能が低下する。

対策:

- ・短時間でも散歩をすることで、周囲の環境や周りの人から刺激を受けて脳の活動が活発になる。

この他にもいろいろな認知症予防の対策があります。自分に合った対策で、認知症を予防しましょう。

薬局だより

〈お通じに使用する薬剤について〉

薬剤部 飯室仁史

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。
今年は世界中が平和で健康であることを願っています。



今回は幅広い年代の方に使用されているお通じに使用する薬剤について書いていきたいと思います。
お通じに使用する薬剤は近年新薬が多く発売され、使用されている種類が増えてきました。一部の薬剤について御紹介したいと思います。

まず 酸化マグネシウム ですが便を柔らかくしてお通じを促す作用があります。便の硬さによって調節しながら使用します。昔から使用されていて、使用している患者さんが多い薬剤であります。注意点として、長期間服用したり高齢者が服用する場合、稀に高マグネシウム血症を起こすことがあります。そのため、吐き気やめまい、息切れ、筋力低下、強い眠気等が認められた場合には、服用を中止し、来院して下さい。

次に アミティーザ ですが腸管からの水分の分泌を促すことで便を柔らかくする作用があります。近年使用している患者さんが増えてきました。この薬剤は注意点として吐き気を予防するため、食後に服用することが大切です。また、妊婦の方は使用することが出来ません。

グーフィス ですが胆汁酸の力を利用して排便を促す作用があります。食前に服用する必要があります。

センノシド や ピコスルファート は大腸を刺激してお通じを促す作用があります。効果は高いですが過剰に使いすぎると効果が減弱する可能性があります。

このように、様々な薬剤があり、単剤もしくは複数の薬剤を服用する場合があります。

もし、お通じでお困りの場合は当院の消化器病センターや肛門科へ御相談下さい。

それでは、素晴らしい年になりますように。

分類	薬剤名(主な商品名)	用法	特徴と注意
浸透圧性下剤 (塩類下剤)	酸化マグネシウム(マグミット)	1日3回(食前か食後) または就寝前に1回	・ 主要な下剤 ・ 便を柔らかくする
	マクロゴール等配合剤 (モビコール)	1日1～3回	2歳から服用可能
上皮機能変容薬	ルビプロストン (アミティーザ)	1日2回 朝夕食後	・ 妊婦は使えない ・ 食後に服用
	リナクロチド (リンゼス)	1日1回食前	便秘型過敏性腸症候群にも使用する
胆汁酸トランスポーター阻害薬	エロビキシバット (グーフィス)	1日1回食前	副作用として腹痛(23.2%)、下痢(14.4%)が現れやすい
大腸刺激性下剤	センナ・センナ実(アローゼン)	1日1～2回	尿が黄褐色または赤色
	センノシド (プルゼニド)	1日1回 就寝前	尿が黄褐色または赤色
	ピコスルファートナトリウム (ラキソベロン)	1日1回	調節しやすい



独立行政法人地域医療機能推進機構 山梨病院 外来診療担当表

●学会等により、予定が変更になる場合もありますのであらかじめお問い合わせください。

2023年1月現在

		月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
消化器病センター	内科	しろせ だいもん 白勢 大門		しんどう くにあき 進藤 邦明	しんどう くにあき 進藤 邦明	さとう ただし 佐藤 公	さとう ただし 佐藤 公	しんどう くにあき 進藤 邦明	ほそだ かずひこ 細田 和彦	すえき りょうた 末木 良太	おさわ しゅんいちろう 小澤 俊一郎
		わかお さとし 若尾 聡士		はせがわ ひろゆき 長谷川 浩之		おさわ しゅんいちろう 小澤 俊一郎		けんもと ゆういちろう 見本 雄一郎	しろせ だいもん 白勢 大門	ふるや けいいち 古屋 圭一	
		けんもと ゆういちろう 見本 雄一郎									
	外科	つちや まさと 土屋 雅人		つちや まさと 土屋 雅人		そだ ひとし 曾田 均	やがわ あきはる 矢川 彰治			そだ ひとし 曾田 均	
				そだ ひとし 曾田 均		おさわ としひさ 小澤 俊雄					
	肛門外科							第1・3・4週 ふじい みちたか 藤井 道孝			
								第2・5週 しらはた あつし 白畑 敦			
	内科	すがまた わたる 菅又 渉		いしはら つかさ 石原 司	第1・3週 つちや こうし 土屋 幸治	はなわ ひろあき 花輪 宏明		いしはら つかさ 石原 司		いしはら つかさ 石原 司	
		かわばた けんいち 川端 健一		さとう あきら 佐藤 明		わになべ ようすけ 渡辺 陽介		すがまた わたる 菅又 渉		でやま しゅんたろう 出山 順太郎	
				9時～ いの ゆり 猪野 友里							
		もりさわ ともこ 森澤 朋子					うちだ よしのり 内田 賢典	もりさわ ともこ 森澤 朋子		いしはら ひろし 石原 裕	
				なかざわ まさき 中澤 正樹	なかざわ まさき 中澤 正樹						
						はやしだ りょうすけ 林田 亮佑	はやしだ りょうすけ 林田 亮佑				
内科	呼吸器										
	血液										
	内分泌・代謝										
	脳神経		かりべ わかこ 郊部 和佳子	しもかわ ちかし 下川 周		もの忘れ外来 しもかわ ちかし 下川 周				しもかわ ちかし 下川 周	
	膠原病					あぐら たけひさ 小倉 剛久	あぐら たけひさ 小倉 剛久				
	初診外来	ひろせ まさこ 広瀬 万紀子		やまぐち かずゆき 山口 千之		すがまた わたる 菅又 渉		いの ゆり 猪野 友里		あかいけ ゆうこ 赤池 裕子	
								たかの かつひろ 高野 勝弘		しろせだいもん かわばたとし 白勢大門/川端健一	
乳腺外科			おおもり まさと 大森 征人		のがた ひさし 野方 尚		のがた ひさし 野方 尚	のがた ひさし 野方 尚	のがた ひさし 野方 尚	おおもり まさと 大森 征人	おおもり まさと 大森 征人
					おおもり まさと 大森 征人		まるやま たかのり 丸山 孝教	おおもり まさと 大森 征人	おおもり まさと 大森 征人		
※婦人科		はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子	はし けいこ 端 圭子
		いけがみ あつし 池上 淳	いけがみ あつし 池上 淳								
整形外科		あらい けんたろう 新井 謙太郎		ささき しげる 佐々木 茂		あらい けんたろう 新井 謙太郎		第3週 さくら けんこ 坂倉 健吾		ささき しげる 佐々木 茂	
				第2週 うえかわ おさむ 上川 修				第2・4週 いのうえ ともお 井上 智雄	第2・4週 骨粗14:00～ 井上 智雄		
		第3・5週(10:30～) うえかわ おさむ 上川 修		第4週 いながき さき 稲永 紗季		11時～ うえかわ おさむ 上川 修		第2・4週 ふじい はじめ 藤井 肇		うえかわ おさむ 上川 修	
		第4週 うえかわ おさむ 上川 修		第3・5週 あいばら やまと 相原 大和				第1週 うえかわ おさむ 上川 修			
耳鼻咽喉科		よしの やすひろ 吉野 泰弘				いしい ゆうき 石井 裕貴		よしの やすひろ 吉野 泰弘			
皮膚科						おがわ よういち 小川 陽一					
放射線科											

- 初診外来** 内科を初めて、または久しぶりに受診される患者様で、紹介状をお持ちでない患者様は初診外来を受診していただいております。また、患者様の症状により、当日の診察は行わず、専門診療科の予約を取り、後日改めてご来院いただく場合があります。
※内科以外の患者様で紹介状をお持ちでない方は各科窓口へお問い合わせ下さい。
- 事前予約** 紹介状をお持ちの患者様は地域医療連携室（内線1080 8:30～17:00）にて事前予約が可能です。予約が無い場合には予約がある患者様を優先して診察させていただきますので、待ち時間が長くなることが患者様の症状や当日の混雑状況等により、後日改めてご来院していただく場合があります。
- 再診のみ** 再診患者様のみとなります。
- 放射線科** 必ず医療機関様から直接放射線科までご連絡をお願いいたします。

※ 婦人科外来 診療時間 10:30～12:00 15:00～16:30

受付時間	午前	8:00～11:30
	午後	診療科によって異なりますので受付窓口にてお問い合わせ下さい。

休診日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

※予約患者様は予約時間の30分前に来院して下さい。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

山梨病院

〒400-0025 甲府市朝日3丁目11番16号
TEL 055(252)8831(代) FAX 055(253)4735(代)
URL <https://yamanashi.jcho.go.jp>
E-mail main@yamanashi.jcho.go.jp

編集・発行 独立行政法人
地域医療機能推進機構 山梨病院
編集責任者 広報委員会